

日ASEAN港湾保安情報伝達訓練の概要

1. 実施日時

平成19年2月7日(水)11:00~17:00 (インドネシア時間 9:00~15:00)

2. 参加国・港(10カ国、19港) (別添3参照)

ブルネイ(ムアラ港)、カンボジア(シアヌークビル港)、インドネシア(タンジュンプリオク港)、マレーシア(クラン港、ジョホール港、ビンツル港)、ミャンマー(ヤンゴン港)、フィリピン(マニラ港、スービック港、セブ港、ダバオ港、ザンボアンガ港)、シンガポール(シンガポール港)、タイ(レムチャバン港)、ベトナム(ハイフォン港)、日本(東京港、横浜港、川崎港、千葉港)

3. 主催: 国土交通省港湾局、海洋政策研究財団(OPRF)、国際協力機構(JICA)、インドネシア運輸省海運総局(DGST)

4. 内容:

- ① 全体訓練調整者(日本)より、各国へ時々刻々とインテリジェンス等からの情報を伝達する。
- ② その情報を受けた各国の訓練責任者から、各港・関係機関へ情報を伝達し、各港は港湾施設保安計画などに基づき、適切な行動をとる。

5. フォローアップ

予め用意したチェックリストに基づき、各国において今回訓練の評価を行う。続いて、3月14日にインドネシアで開催予定の「日ASEAN港湾保安専門家会合」において、各国から今回の訓練の報告を受け、全体の総括を行う。